

環境テーマの絵本 小牧市に100冊寄贈

春日井の物流会社

春日井市の物流会社「ホンダロジコム」は十五日、中部大生と共同制作した絵本「じょろろんじょろろん」100冊を小牧市に寄贈した。市内の図書館や保育園、小学校などに配られる。

SDGsに幼い頃から関心を持ってもらおうと、環境問題をテーマに三月に出版。水を浄化できる「じょろんじょろんくん」を主人公に、川がどうやって汚れてしまうのか、どうすれば水質を改善できるのかを分かりやすく描いた。



子どもたちに絵本を読み聞かせる学生ら＝小牧市小牧3の「いまき」子ども未来館で

「いまき」子ども未来館（同市小牧三）での寄贈式で、本多敦社長（五〇）が「SDGsの取り組みは持続がキーワード。作って終わりではなく、読み聞かせのイベントなどで使っていくたい」と述べた。山下史守朗市長は「未来を担う子どもたちと一緒に進めていけるよう活用していく」と感謝した。

その後、中部大生による読み聞かせもあり、参加した子どもたちは「楽しかった」と笑顔だった。